

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	群馬県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信事業実施計画		
4 実施計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第15次群馬県総合計画「はばたけ群馬プラン」（平成27年策定）、群馬県文化振興指針（平成25年度策定）、第2次群馬県教育振興基本計画（平成25年度策定）及び、群馬県観光振興基本計画「はばたけ群馬観光プラン2016-2019」（平成27年度策定）を踏まえ、群馬県が全国に誇る文化遺産を県内外に向けて発信し、その価値を再認識してもらうことで次世代への継承・発展を促すとともに、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、事業を実施する。</p> <p>また、事業計画期間中は、本事業を通じて、行政や地元住民、民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制の強化するとともに、広告料収入や企業協賛金など自主財源の確保に努め、一過性の事業として終わらないよう、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための自律的で継続可能な体制（仕組み）づくりの推進する。</p> <p>さらに、人口急減・超高齢化という大きな課題に対し、本事業を通じて、各地域で地元住民が主体となって文化遺産を活かした取り組みを進めることで、本県の魅力を高め、次世代を担う子どもたちに故郷への愛着と誇りを育み、継承していくことで、将来にわたって本県への定住人口の増加を図る。</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、平成25年度に群馬県生活文化スポーツ部文化振興課内に設置された「東国文化係」を中心に、群馬県が関係市町村、文化財保護団体、民間団体と協力して、全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割は以下のとおり。</p> <p>※群馬県庁内に横断的な組織を設置して推進 （主な担当課、役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県教育委員会事務局 文化財保護課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 ・群馬県企画部 世界遺産推進課：ぐんま絹遺産に関する指導・調整等 ・群馬県生活文化スポーツ部 文化振興課：事業全体の調整・群馬の歴史文化資産・教育文化事業団に係る指導・調整等 ・群馬県農政部 蚕糸園芸課：蚕糸業に関する指導等 ・群馬県産業経済部 観光物産課：観光に関する連携 ・群馬県企画部 広報課：情報発信に関する連携 <p>（関係市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前橋市 文化財保護課：前橋市内の文化財等に関する連携 ・高崎市 文化財保護課：高崎市内の文化財等に関する連携 ・伊勢崎市 文化財保護課：伊勢崎市内の文化財等に関する連携 ・太田市 文化財課：太田市内の文化財等に関する連携 ・みどり市 文化財課：みどり市内の文化財等に関する連携 ・沼田市 社会教育課：沼田市内の文化財等に関する連携 <p>また、事業の実施については、次の団体が実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会（委員長 近藤 功） <p><構成団体> （公財）群馬県教育文化事業団、（一社）群馬建築士会、歴史と文化を学ぶ会、ひつじ大学、上野国分寺遺跡愛好会、群馬県、群馬県教育委員会、関係市町村（オブザーバー）等</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 149,125 千円	平成29年度申請額： 9,130 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

- ・地域の文化遺産や伝統文化に関する認識や意識が向上し、文化財等の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域活性化や観光振興が期待できる。また、地元市町村、文化財保存団体、県観光物産課、観光協会、県広報課、教育委員会などが連携し、情報発信することにより、観光客や観光ボランティアの増加に寄与することができる。
- ・人口急減・超高齢化という大きな課題に対し、本事業を通じて、各地域で地元住民が主体となって文化遺産を活かした取り組みを進めることで、本県の魅力を高め、次世代を担う子どもたちに故郷への愛着と誇りが生まれ、文化遺産が継承されていくことで、将来にわたって本県への定住人口の増加が期待できる。
- ・次世代を担う子どもたちをはじめ、県民に参加してもらうことで、地域の文化遺産に対する理解度・認知度を高めることができる。
- ・県内の有形・無形の文化遺産の魅力を総合的に発信していくことで、実際に全国から多くの来場者が見込まれるほか、県のブランド力を高め観光振興を含めた地域の活性化に貢献できる。
- ・文化財保護団体、県内歴史研究家、県内大学・専門学校、地元市町村、民間企業など多くの関係機関や団体が参加することで、「群馬の歴史文化遺産」を中心とした産官学の連携が図られる。
- ・事業を通じて文化財保存団体が交流することで、今後の継承活動に向けた連携強化が図られる。
- ・集客力のあるイベントや情報発信力のある事業を実施することで、行政、地元住民、民間団体、文化財保護団体に関心を持って自発的に参加する体制づくりが進むとともに、広告料収入や企業協賛金など自主財源を確保することで、補助金に頼らない継続的な事業の実施が可能になる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ●東国文化周知事業（県事業） <ul style="list-style-type: none"> ・地元市町村や住民とともに歴史文化資産の活用した県民参加型の周知イベント「古代東国文化サミット」の開催 ・東国文化副読本の発行（県内の全中学1年生に配布） ・遺跡や古墳の価値を地域住民に再発見してもらうための、「古墳・遺跡価値再発見プロジェクト」の実施 ●上野三碑世界記憶遺産登録推進（県事業） <ul style="list-style-type: none"> ・上野三碑は平成28年にユネスコ「世界の記憶」へ申請し、平成29年度にその登録が期待されている史跡である。その登録に向け、継続して、上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会を中心に、上野三碑を県内外に発信するため、日中書道展や国際シンポジウム等の開催を予定。 ・また、登録となった際には、登録記念式典、イベント等を開催。
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ○「偲ぶ毛の国」群馬の魅力発掘・発信（県事業） <ul style="list-style-type: none"> ・古墳情報発信事業 古墳データベースを作成する。スマートフォン用アプリを開発する。 ・上野国分寺跡整備 上野国分寺跡の発掘調査や整備を推進する。 ・文化財保存事業費補助特別枠 全国に誇れる文化財について市町村が実施する保存・整備事業に対し補助する。 ・史跡等保護管理運営 上野国分寺跡や観音山古墳の管理運営体制を強化し、開館日を増加させる等の充実を図る。 ・金井東裏遺跡出土甲装着人骨等調査 渋川市金井東裏遺跡から出土した甲装着人骨等について、展示の充実等を図る。 ○「群馬の文化」支援事業（県事業） <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化資産を活かした地域づくりや観光振興への取り組み等を支援する。 ○伝統文化継承事業（県事業） <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化を次世代に残そうとする、意欲ある保存・継承団体に対して財政的支援を行う。 ・県教育文化事業団が持つ伝統文化に係る専門知識や人脈を活用して、継承活動を側面から支援する。
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ○千客万来支援（県事業） <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から補助対象事業に「歴史文化遺産活用推進」を追加 ・富岡製糸場を中心とする群馬の歴史遺産を活用した観光誘客の取り組みを支援する。 ○「ググっとぐんま観光キャンペーン」などの観光PRの中で、群馬の魅力あふれる歴史文化遺産を紹介（県事業） ○様々な県広報媒体を通じて情報発信（県事業）

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

現時点で県での策定予定はない。

12 担当部局

地方公共団体
担当部局課

群馬県 生活文化スポーツ部 文化振興課 東国文化推進室

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	県政県民意識アンケートの「県民が群馬の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを持っている」人の割合			関連事業 :	②③④⑤⑥⑦⑧	
目標値 1 :	平成 28 年度	38.3 %	⇒	平成 33 年度	40.3 %	
設定根拠 1 :	平成24年度から平成28年度までの伸び率がほぼ同率で推移していることから、事業実施により毎年度0.4ポイントの増加見込み目標値を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	県立歴史博物館、高崎市多胡碑記念館、史跡上野国分寺跡ガイダンス施設の入場者数			関連事業 :	①⑥⑦	
目標値 2 :	平成 28 年度	99,700 人	⇒	平成 33 年度	154,400 人	
設定根拠 2 :	各施設の伸び率を勘案し、伸び率を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業④：	ぐんまの伝統文化次世代継承事業				実施団体：	(公財) 群馬県教育文化事業団	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	文化財である群馬会館にて、県内各地に伝わる民俗芸能を継承する子ども5団体による公演を行う。県内の子どもたちが集い、様々な芸能の披露を通して郷土の歴史や文化を誇りに思い、豊かな人間性を育み環境づくりと伝統文化を守る次世代を育成する。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	民俗芸能継承に向け、各保存会の新規入会者数を増やす						
目標値：	平成 28 年度		0 人		⇒ 平成 33 年度		30 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		人
事業⑤：	ぐんまの伝統文化普及啓発事業				実施団体：	(公財) 群馬県教育文化事業団	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	県内神楽団体にアンケートを実施し、現状と課題について話し合うシンポジウムと講演会、神楽公演を開催し、今後の保存・継承の筋道を探り、団体が相互に情報を共有することで継承に向けた連携を図る。また、伝承されてきた神楽の価値や魅力の再認識、今後の継承と活性化を図る。						
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	伝統文化の継承・普及を目指す。 ※県内の主な民俗芸能（歌舞伎・人形芝居・神楽・獅子舞・八木節・囃子）は462件あり、担い手不足等から廃絶・中断中の芸能が増加傾向。						
目標値：	平成 28 年度		462 件		⇒ 平成 33 年度		462 件
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
件	件	件	件	件	件		件
事業⑥：	講演会（歴史と文化を学ぶ会）				実施団体：	歴史と文化を学ぶ会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 25 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	群馬県及びそれに関連した歴史と文化遺産を中心に、その理解を深めてもらうための講演会を年5回行う。						
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	上野三碑一般公開来場者数						
目標値：	平成 27 年度		685 人		⇒ 平成 33 年度		800 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		人

事業⑦：	地域文化講演会	実施団体：	特定非営利活動法人 ひつじ大学			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	地域文化への理解を深め、郷土愛を醸成するため、勉強会形式での講演会を開催し、世界記憶遺産保護に向けた市民ボランティアを養成する。さらに、研究者および外部研究者による討論会形式のシンポジウムを開催し、上野三碑に関する最新の研究成果を発表する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	上野三碑一般公開来場者数					
目標値：	平成 27 年度		685 人	⇒	平成 33 年度 800 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑧：	人形芝居教室	実施団体：	(公財) 群馬県教育文化事業団			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	平成27年に34年ぶりに復活した一人遣いの唐堀人形芝居遊樂座は、現在、上演可能な演目が1つである。人形芝居の継承と活動の活性化を図るため、座員を対象とした人形芝居教室を実施し、上演可能な演目を増やす。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化(維持)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	県内人形芝居6座と各座の座員数を維持する					
目標値：	平成 28 年度		6座 144人	⇒	平成 33 年度 6座 144人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	